「ゲスナー賞文庫」開設記念展 開催にあたって

「ゲスナー賞¹」とは、優れた「目録・索引」や「本の本」の刊行を顕彰することを目的として、雄松堂書店が 1997 年に 創設した *Bibliography Award*です。スイスの博物学者コンラート・ゲスナー(Konrad Gesner,1516-1565)の名にちなんで「ゲスナー賞」と名づけられました。

コンラート・ゲスナーは、世界で初めて 16 世紀までの著述家のアルファベット順索引と学問領域の体系的叙述を備えた書誌、『萬有文庫 (Bibliotheca Vniversalis)』(1545年)を著したことによって"書誌学の父"と呼ばれています。

審査委員に紀田順一郎氏、高宮利行氏、林望氏を迎え3年に1回開催されたこの賞も2008年度に第5回を数え、 受賞作品は35点、応募作品総数は581点にいたりました。

雄松堂書店では、「書誌」・「蔵書目録」・「索引」・「本の本」等からなるこのユニークなコレクションの将来を考え、都 心で利便性も高く、また「本の街」神保町の中心にある明治大学図書館に収蔵されるのが最もふさわしいとの理由から、 本学図書館に寄贈される運びとなりました。

明治大学図書館では、「ゲスナー賞」創設の趣旨、及びコレクションの内容を尊重し、これを「ゲスナー賞文庫」と名づけ、中央図書館 1 階の開架コーナーに設置しました。そして、この文庫を広く、多くの方々に利用していただくため、「ケベック文庫²」とともに一般公開文庫として位置づけ、すべての閲覧希望者に公開していきます。

本展示では、この「ゲスナー賞文庫」の開設を記念して、コンラート・ゲスナーの『萬有文庫』(初版)をはじめ、第1回から5回までの受賞作品すべてと応募作品の一部、また、明治大学図書館所蔵の歴史的書誌・目録類を展示いたします。

今日の情報処理技術の進歩のおかげで、目録・索引等の編纂作業はとても簡便になったとはいえ、本当に優れた書誌・目録・索引などの編纂は、実際にこれに携わる人々の地道な努力と膨大な時間を要することにかわりはありません。普段は表舞台に登場しませんが、学術発展の基礎であるこれらの書誌・目録・索引類は、図書館の歴史にとっても欠くことのできない重要なものです。本展示によって、その一端に触れていただければ幸いです。

明治大学図書館

¹ ゲスナー賞: 「目録・索引」部門(蔵書目録、索引など)と「本の本」部門(書物・書誌研究、本に関するエッセーなど) の2部門を設け、広い分野で作品を募集し、紀田順一郎(書物評論家)、高宮利行(慶応義塾大学名誉教授)、林望 (作家・書誌学者)の3氏によって厳正な選考がおこなわれ、優秀作品には、各部門ごとに金賞、銀賞が贈られる。

² ケベック文庫: ケベック・カナダ研究支援のため、ケベック州政府の協力を得て、カナダ・ケベック州に関する資料を収集する文庫で 2005 年に明治大学図書館に設置された。

コンラート・ゲスナー(1516-1565) ―生涯と著作―



1516年、スイスのチューリッヒに生まれる。子供時代を植物学に造詣の深い大叔父のもとで過ごし、この大叔父から強い感銘を受け生涯を通じて抑えがたい科学的な衝動に駆られるようになる。

その後、10 代後半にフランスへ留学。ラテン語、ギリシャ語、 ヘブライ語を積極的に学び、ギリシャ語やラテン語の著述家、医 者、詩人、歴史家の著書を入手可能な限り片っ端から読んでいった。しかしながらその一方で、スイスの宗教改革者・フルドリッ ヒ・ツヴィングリに深い衝撃と感銘を受け、プロテスタント主義に積 極的に関わった結果、プロテスタント追放政策により度々留学の 中止を余儀なくされた。

チューリッヒの小学校での教師を経験した後、21 歳でローザン ヌのアカデミーでギリシャ語の教授に就く。ローザンヌでは3年間 を過ごしたが、その間に植物調査旅行に何度も出かけ、植物相 や自生の特色、医学的な治癒力や薬学における使用法を研究。

文字どおり『博物学者』となり、この頃には後に刊行される『萬有文庫』の壮大な構想を明確に持っていた。

ローザンヌから再びチューリッヒに戻った後、26 歳から奨学生としてカロニヌム神学校で自然哲学および倫理学の授業を持つ傍ら、超人的な努力で著述活動を行った。1544年、29歳のゲスナーは心に温めていた『萬有文庫』の構想に取り掛かり、翌1545年、世界で初めての書誌目録として刊行されることとなる。

さらに『萬有文庫』であげられた著作を学問分野別に分類し、体系的に配列した『総覧』の編纂に取りかかり、1548年に全21巻のうち19巻を、翌1549年に最終巻となる第21巻を刊行した(第20巻は未刊)。その後、1555年には『萬有文庫』の補遺版『書誌の補遺』および書誌の抄録『簡略版萬有文庫』といった、書誌に関する文献を次々に刊行した。

こうして書誌の大家となったゲスナーは、『萬有文庫』と同じように長年持ち続けていた構想である動物書の編纂に取りかかった。それまで一度も存在しなかったほど広範囲の資料に基づき、自分の知らない動物の図を取り寄せる一方、様々な国から動物を送らせ多数の挿絵や木版を仕上げていった。その様な努力の末、8年の歳月をかけ『動物誌』全5巻(1551-1558年)が刊行された。

1560 年頃からは長年調査し研究を続けてきた植物の図版を体系的に発展させ、『動物誌』と同じような規模の『植物誌』の編纂に力を注ぎ始めたが、1565 年のペストの大流行により自身も発病。その年の12月、志半ばにして49歳でその生涯をとじた。

*参考文献:『ゲスナー CONRAD GESNER 生涯と著作』

ハンス・フィッシャー著 今泉みね子訳 博品社(1994年刊行)(第1回ゲスナー賞「本の本」部門応募作品)

ゲスナー年譜

1565年 49歳

ペストにより死去。

年代 年齢 主な事柄・著作

1516年 スイスのチューリッヒに生まれる。 子供時代を博物学に造詣が深い大叔父でチューリッヒの助任司祭ハンス・フリックのもとで過ごし 感銘を受ける。 1527年 11歳 神学校であったカロリヌム学校のラテン語教授ヨハン・ヤーコブ・アンマンに引き取られる。 1533年 17歳 ブルジェ(フランス)に留学し、神学と古典語学を学ぶ。 1534年 18歳 パリに留学し、ギリシャ語、ラテン語、ヘブライ語を学ぶ。 1535年 19歳 チューリッヒに戻り結婚。小学校の教師の職に就く。 1537年 21歳 ベルン政府がローザンヌに創設したアカデミーのギリシャ語の教授として招聘される。 ローザンヌでは、周辺地域の植物相調査や大規模な探索旅行を行い、文字通り博物学者となっ た。 『ギリシャ語=ラテン語辞典』刊行 1541年 25歳 チューリッヒに戻り、奨学生としてカロリヌム学校で哲学、物理、倫理学の授業を持つ傍ら、文筆活 動で副収入を得るため超人的な努力で著述活動を行う。 『ディオスコリデスから抜粋された記載・・・アルファベット順配列になる植物誌』刊行 『ラテン語、ギリシャ語、ドイツ語、フランス語および報告された地域での植物名目録』刊行 1542年 26歳 1544年 28歳 『萬有文庫』の構想に取りかかる。 『萬有文庫』刊行 1545年 29歳 1548年 32歳 『総覧』刊行 1550年 34歳 『動物誌』の構想に取りかかる。 『動物誌 第1巻:胎生の四足動物について』刊行 1551年 35歳 1553年 37歳 『動物図譜』刊行 1554年 38歳 臨床医としてチューリッヒの上級医官に指名される。 『動物誌 第2巻:卵生の四足動物について』刊行 1555年 39歳 『萬有文庫補遺』及び『簡略版萬有文庫』刊行 『動物誌 第3巻:鳥類の性質について』刊行 1558年 42歳 『動物誌 第4巻: 魚類および水生動物の性質について』刊行 1560年 44歳 『植物誌』の構想に取り掛かる。 『鳥類図譜』及び『水生動物図譜』刊行 1561年 45歳 『ドイツの植物園』刊行

ゲスナー『動物誌』 全 5 巻 (1551-1558 年) 中の挿絵 (一部) 画像提供:雄松堂書店

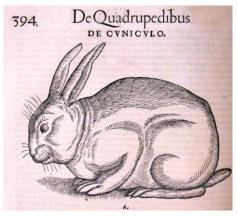
※ ゲスナー『動物誌』は、本展示においては資料そのものの出展はなく挿絵のみのパネル展示となるが、展示番号 4 ョンストン『諸動物の詳説』(本学所蔵)の中に、『動物誌』中の挿絵と同じもの(インドサイ)が登場し、興味深い比較をすることができる。 (→出展リスト展示番号 4 ョンストン『諸動物の詳説』 の項を参照。)



インドサイ (アルブレヒト・デューラーのスケッチをもとにした木版画)



ラクダ



ウサギ



ライオン



ウミガメ



クジャク

ゲスナー賞審査委員

紀田順一郎 作家·書物評論家



近代文学研究、情報論を中心に、古書ミステリを手がけている。2006 年より神奈川近代文学 館理事長をつとめる。

【主な著書】『永井荷風』(1990、リブロポート)、『世界を騒がせた本』(1993、新潮社)、『日本の書物』(1994、筑摩書房)、『日記の虚実』(1995、筑摩書房)、『紀田順一郎著作集』全8巻(1997、三一書房)、『日本の下層社会』(2000、筑摩書房)、『私の神保町』(2005、晶文社)など。最近、古稀記念出版として、20歳台の同人誌活動時代の文章を『戦後創成期ミステリ日記』(2006、松籟社)に収録した。1997年、岡山県吉備中央町に書庫を建設、数年間の連載

紀行を画文集にまとめた『吉備悠久』(森山知己と共著、2006、山陽新聞社)を上梓。

高宮利行 慶應義塾大学名誉教授



イギリス好古家協会フェロー(FSA)、シェフィールド大学名誉博士 専門は古書体学、書物史、中世イギリス文学、アーサー王文学等。日本中世英語英文学会会 長、新チョーサー学会理事、国際アーサー王学会日本支部長、POETICA 編集委員長などを 歴任。

【主な著書】 〔著作〕 『グーテンベルクの謎』(1998、岩波書店)、『アーサー王物語の魅力』 (1999、秀文インターナショナル) 〔共編著〕 『図説本と人の歴史事典』(1997、柏書房)、『中世イギリス文学入門 -研究と文献案内』(2008、雄松堂出版) 〔翻訳〕 スタン・ナイト『西洋書

体の歴史』(2001、慶應義塾大学出版会)、ロッテ・ヘリンガ『キャクストン印刷の謎』(1991、雄松堂出版) 〔論文〕 'Richard and Robert as False Executors in Late Medieval England', Anglistik 8(1997)ほか。

林望 作家·書誌学者



作家・書誌学者。英国滞在中の見聞を綴った著書「イギリスはおいしい」(1991、平凡社)で日本エッセイスト・クラブ賞、「ケンブリッジ大学所蔵和漢古書総合目録」(1991、ケンブリッジ大学出版会)で国際交流奨励賞、「林望のイギリス観察辞典」(1993、平凡社)で講談社エッセイ賞を受賞。

【主な著書】『書誌学の回廊』(1995、日本経済新聞出版社)、『「芸術力」の磨き方』(2003、PHP研究所)、『すらすら読める土佐日記』(2005、講談社)、『リンボウ先生の大人の知的旅行術』(2006、オータパブリケイションズ)など。

第1回ゲスナー賞 金賞選評

「目録・索引部門」金賞 『瀧井孝作書誌』は、自費出版で、三度も校を改めるなど、著者の瀧井孝作への傾倒と妥協のないひたむきな調査なども含め、作者の執念とも言える努力の跡が見られ、書物についての記述はもちろん、書物としての造作も立派なものであることが高く評価された。

「本の本部門」金賞 『書物の森へ 西洋の初期印刷本と版画』は、美術館が開催した展示会の目録ではあるが、日本で 所蔵されている西洋の初期印刷本と同時代の版画を集め、書誌学的分析がなされ、しかもオール・カラーで、必要なもの には英文の記述も付されている。後続の目録の手本となる作品で、しかも装丁のデザインも美しい点が評価された。審査 委員からは、この目録を是非オール・カラーのまま出版し、市場で流通するようにしてほしいとの要望が出た。

(雄松堂書店広報誌「ピヌス」44 号より一部抜粋)

第2回ゲスナー賞 総評 (紀田順一郎氏)

今回の応募総数が前回を大きく上回り、嬉しく思っている。「目録・索引部門」においては、創り手の志や情熱が感じられる ものが多かった。「本の本部門」は応募数が少なかったが、受賞作品「愛書狂」はまさに待っていた意中のものが現れたと いう感じがある。 (雄松堂書店広報誌「ピヌス」48 号より、一部抜粋)

第3回ゲスナー賞 総評 (紀田順一郎氏)

今年の傾向としては、過去2回の授賞に比べ、児童書に関する研究書が多かったこと、印刷をテーマにしたものが多かったことがあげられます。それぞれ時代の必然性があるかと思いますので、今回のゲスナー賞に、こうした傾向を反映したいと考慮いたしました。

(雄松堂書店広報誌「Net Pinus」より一部抜粋)

第4回ゲスナー賞 総評 (紀田順一郎氏)

これまで審査員として第1回ゲスナー賞より、応募作品400点以上を見てきました。作品の大半が目録や研究書であり、それらは長い年月をかけて作成されたものですから、その人のキャリアや人生が内容に反映されています。こういった作品は新書や単行本が400冊あるのとは違って重量感があります。今回の82点の応募作品を拝見して、今までに増して素晴らしい本が集まったと感じました。 (雄松堂書店広報誌「Net Pinus」より一部抜粋)

第5回ゲスナー賞 総評 (紀田順一郎氏)

今回のゲスナー賞応募作品で最も多かったのは「古本文化」関連の著書、これに次ぐのは「アジア文化圏」関連書(8点)と「図書館」関連書でした。 このほかの分野も例年必ず応募のあるもので、「辞書研究」5点、「近世関係」4点、「装丁、本づくり、装画美術」4点、「児童文化」4点、「美術カタログ」3点、「西欧関係」3点、「個人蔵書関係」3点、「個人蔵書関係」3点、「個人蔵書関係」3点、「出版史」2点などが目につきました。応募作品のいずれをとっても現今の出版事情のもとでは得難い収穫という他はなく、関係各位に敬意を表すること、吝かではありません。今後ともこの分野の灯を絶やすことのないよう期待するものですが、このことに関して大変喜ばしいニュースがあります。それは本ゲスナー賞の過去の全応募作品が明治大学図書館に収蔵される運びとなったことです。本賞の意義を理解し有意義に保存活用していただける教育機関を得たことは、当初から本賞に関係しその発展を願ってきた私ども審査委員会の喜びでもあります。 (雄松堂書店広報誌「Net Pinus」より要約)



第5回選考会の様子(1)



第5回選考会の様子(2)



第5回授賞式の様子

書誌(bibliography)とは

"書誌"とは、"bibliography"の訳語である。"bibliography"の語源はギリシャ語の"biblion"(図書)および "graphein"(書くこと)から生まれたことばで、"bibliography"には、書誌、および書誌学という意味が含まれている。書誌学とは物理的実体としての図書を研究対象とする学問であるが、ここでとりあげている書誌とは、列挙(体系)的書誌 (systematic bibliography)を指しており、書物についての記録(書誌記述 bibliographical description)を体系的に列記して作成される"書物のリスト"およびその"作成技法"のことである。"書物のリスト"には、さまざまな種類のものがあるが、現在では大別して次の三つにわけることができる。

1、書誌(bibliography)

特定主題(個人の著作目録を含む)や年代、地域などの範囲における書物の記録を集めて体系的にまとめたもの。図書館や機関の蔵書かどうか、あるいは、図書、雑誌論文などの限定性はないが、網羅的なもの(全国書誌や一般書誌 例:出版年鑑)と特定の主題や地域、年代などを区切った選択的なものがある。"書誌の書誌"もここに含まれる。

2、蔵書目録(catalogue)

図書館や機関、あるいは個人が収集・整理・保存している書物の記録を体系化したもの。蔵書目録でありながら、主題を持つ場合も少なくない。(例:英文学関係蔵書目録、明治大学所蔵蘆田文庫目録古地図編)現在では図書館の蔵書目録(library catalogue)のかなりの部分が、OPAC(オンライン・パブリック・アクセス・カタログ)としてWeb上で公開されている。

また総合目録(union catalogue)とは、複数の図書館や機関の蔵書目録を統合したもので、日本の大学図書館の総合目録である「NACSIS Webcat」は、国立情報学研究所によって Web 上で公開されている。日本古典籍の総合目録としては、『国書総目録』、『古典籍総合目録』があるが、こちらも国文学研究資料館によって「古典籍総合目録データベース」として公開されている。

3、書誌的索引(index)

① **雑誌記事索引 (periodicale index)** 19 世紀後半に出現したもので、雑誌に掲載された論文・記事・報告などの書誌事項 (論題名・著者名・収録雑誌名・巻号数など)を組織化している。

日本では現在、国会図書館の OPAC から「雑誌記事索引」にアクセスできる。他にデータベース「CiNii」、「MAGAZINEPLUS」や「大宅壮一文庫雑誌記事索引」などが有名である。

② 引用文献索引(citation index) 論文の書誌事項だけでなく、その論文の引用文献(参考文献)を索引化したもの。これを利用することによって、広い範囲での文献収集だけでなく文献の引用数を調べて、研究動向の調査をおこなうこともできる。

世界最大の引用文献索引データベース「Web of Science」は、自然科学(SCI:Science Citation Index)、社会科学(SSCI: Social Science Citation Index)、人文科学(A&HCI:Arts and Humanities Citation Index)の三分野の索引データベースを検索することができる。

参考文献:澁川雅俊著『目録の歴史』勁草書房 1985 年 ほか

西洋の書誌の歴史

I. 古代 粘土板・パピルスに書かれた目録

メソポタミアでは、王宮付属の文書庫に大量の粘土板文書が保存され、粘土板の目録が作られていた。ギリシャ・ローマ時代には、都市に図書館が建設されたが、パピルスに記された目録はほとんどが現存していない。アレクサンドリア図書館(前3世紀)の蔵書目録、カリマコス(Callimachus)編「ピナケス(Pinakes)」は、アレクサンドリア図書館が所蔵するすべてのギリシャ語文献の分類ごとの著者別目録であったと考えられているが、120巻の大半は失われ、わずかな断片が伝わるのみである。カリマコスは、アレクサンドリア図書館、ブルケイオン(Burcheion)の図書館長であった。

Ⅱ. 中世 修道院の写本蔵書目録

ョーロッパ各地の修道院では書写室(Scriptrium)で図書の書写がおこなわれ、簡単な蔵書目録が作成されていた。修道院図書室では、書物は、聖書、聖書研究を最初の主題区分として、主題別にプレス(本箱)に配架されており、簡略な目録の記述は、そのプレスごとにおこなわれていた。さらに小規模な修道院では書物が少ないためプレスもなく、書物は木箱(チェスト)に収納されていた。一方、英国では、14世紀中葉にフランシスコ派修道士によって191の修道院が所蔵する673名の著者の作品を網羅した著者名順の総合目録(Catalogus scriptorium ecclesiae)が作成されていた。

Ⅲ. ルネサンス 活版印刷術の発明と普及

i. 印刷された最初の書誌

トリテミウス『聖職者の著作について』

(Trithemius, Johannes. Liber Scriptorius Ecclesiastici. 1494)

カトリック聖職者約 1000 人の 7000 点におよぶ著作を収録。著作の主題は宗教関係を中心にその他の分野も収録。書誌の記述方法は、著者の簡単な伝記、著作リストで、著者の配列は生存年代の編年体。 トリテミウスは、ドイツのシュポンハイム(Sponheim)の修道院長。

ii. 近代的書誌の基礎 — 世界書誌の試み

コンラート・ゲスナー『萬有文庫』(Gesner、Konrad. Bibliotheca Vniversalis. 1545)展示番号 1 ゲスナーは、彼の時代までに蓄積された人類の知識である書物を体系化しようと試み、聖書の言葉であるギリシャ語、ラテン語、ヘブライ語で書かれたあらゆる分野の書誌情報を網羅的に収集・整理し、『萬有文庫』(Bibliotheca Vniversalis)として 1545 年にチューリッヒのフローシャウアー印刷所より刊行した。書誌の構成は、書誌本体が著者のファースト・ネーム順の配列で、約 3000 名、12000 点の書物が収録されており、巻頭に著者名のアルファベット順索引がつけられている。

iii. 国別現在書目録

ジョン・ベイル 『英国現在書目録』(Bale, John. *Illustrium maioris Britanniae scriptorium.* 1548) 現在書目録とは、当時現存していた書物の目録で、ベイルはジョン・リーランド(John Leland)が収集した資料にもとづいて、英国や英国人について書かれた書物を収録した英国の現在書目録を編纂。著者別の編年体。

iv. その他の書誌

フランクフルト書籍市の販売目録 (Willer, Georg. *Die Messkataloge.* 1564-92) ヴァチカンの禁書目録 (*Index librorum prohibitorum.* 1559-1966)

Ⅳ. 近代的書誌の誕生

i. 全国書誌

アンドリュー・マンセル 『英国印刷書目録』

(Maunsell, Andrew. *The first[-seconde] part of the catalogue of English printed books.* 1595) 全国書誌とは、ある国で刊行されたすべての出版物を収録する書誌。マンセルは書籍商で、この目録は書籍商のマニュアルとして編まれた。ゲスナー、ベイルと異なり、著者のクリスチャンネームではなく、サーネーム(姓)で配列。今日的な意味での全国書誌の起源は、1811 年創刊のフランスの *Bibliographie francaise*。

ii. 近代的な蔵書目録

オックスフォード大学 『ボドレー図書館蔵書目録』

展示番号 Y-1

(Catalogus librorum bibliotheca, 1603) (書架分類目録)

(Catalogus universalis librorum, 1620) (著者名目録)

(Catalogus impressorum librorum, 1674) (刊本の書名目録)

iii. 専門書誌

ガブリエル・ノデ 『政治学書誌』 (Naud é, Gabriel. *Bibliographia politica*. Paris, 1627) "Bibliographia"を書名に使用した最初の書誌。専門書誌として政治学の分野の学術的な文献の体系を示している。

V. 近現代のさまざまな古典籍書誌

i. Burunet, Jacques Charles. *Mannuel du libraire et de l'amateur de libres*. Paris, 1810 ブリュネのフランスを中心とした古典籍書誌。それぞれの版の特徴を記している。

092.3/477//H 展示番号 Y-2

ii. Dibdin, Thomas Frognall. Bibliotheca Spenceriana, or A descriptive catalogue of the books printes in the fifteenth century and of many valuable first editions, in the Library of George John Earl Spencer. London, 1814-15

スペンサー卿の個人文庫所蔵の15世紀印刷本の詳細目録。イギリス近代書誌学発展の嚆矢となった。

092.3/171//H 展示番号 Y-3

iii. Hain, Ludwig. *Repertorium bibliographicum.* Stuttgart, 1826-36. ハインの 15 世紀印刷本の文献学的書誌。

026/76//J 展示番号 Y-4

iv. British Museum. Catalogue of books printed in XVth Century Now in British Museum. 1962-2007 大英博物館所蔵15世紀印刷本の詳細目録。国、地域ごとに巻がわかれており、印刷地、印刷者、出版年の順に検索する。

※展示は Pt.11 England 026/282//J 展示番号 Y-5

v. The Aldine Press: catalogue of the Ahmanson-Murphy collection of books or relating to the press in the Library of the University of California, Los Angers, 2001.

カリフォルニア大学の Ahmanson-Murphy collection 所蔵アルドゥス・マヌティウスの刊本詳細目録。アルドゥスは、ルネサンスの人文主義印刷者で、多くのギリシャ・ラテン語古典などを印刷刊行した。

026/275//J 展示番号 Y-6

日本の代表的な書誌

I. 奈良時代

輸入仏典の目録類 経巻納櫃目録 正倉院所蔵。中国から将来された仏教経典など仏書の目録。

Ⅱ.平安時代

i. 漢籍の目録 日本國見在書目録 / 藤原佐世[撰]

寛平年間(889-898)成立。当時都周辺に知られていた漢籍を調査したもので、40 部門 1578 部 16997 巻を収録。 025.22/27//H 展示番号 W-1

ii. 歌書目録 **和歌現在書目録** / 藤原清輔ら編 仁安年間(1166-1169)成立。

Ⅲ. 鎌倉時代

i. 国書の目録 本朝書籍目録

025/927//J 展示番号W-2

編者未詳。鎌倉中期の成立。当時現存していた資料を分野別に総覧する目的で作成。

ii. 蔵書の目録 通憲入道蔵書目録

編者未詳。鎌倉初写本。藤原通憲(信西 1106-1159)の蔵書目録といわれているが後代の書物が混入している。

Ⅳ. 南北朝時代

御所の御文所の蔵書目録 仙洞御文書目録

文和 3(1354)。朝廷の仙洞御所の和漢書、仁和寺移管の典籍の蔵書目録。

V. 江戸時代

i. 出版目録 新増書籍目録 / 文昌軒紫橋 「著]

延宝 3(1675)。江戸。いろは分け目録。流通の便宜を見込んで刊行されたもの。他にも複数の版元より同様の目録が刊行された。 025/78//J 展示番号 W-3

ii. 国書の体系的な解題書誌 **群書一覧** / **尾崎雅嘉** [著]

025/127//J 展示番号W-4

享和 2(1802)。34 門に分類した 1700 余種の書の、書名・撰者名・巻冊数・刊本写本の有無・解説・考証。

iii. 著者別目録 近代名家著述目録 / 堤朝風 [編]

天保7(1836)。元和(1615-24)以来の著者426人をいろは順に排列。

027/58//J 展示番号W-5

VI. 近現代

i. 帝国図書館和漢図書分類目録 / 帝国図書館和漢図書分類目録

029.1/12//H 展示番号 W-6

1900-。帝国図書館(第二次世界大戦以前の日本における国立図書館)による八門分類の目録。

ii. 國書逸文 / 和田英松編 森克巳校

210.08/43//H 展示番号 W-7

1940。わが国で著述・編纂された書籍・記録で、現在散逸してしまっているものを収集・集成。

iii. 國書總目録 / 岩波書店編

025/694//J 展示番号 W-8

1963-1976。国初から慶応3年までに刊行された国書が、全国のどの図書館や文庫に所蔵されているかを記載した、全9冊の総合目録。

iv. 古典籍総合目録 / 国文学研究資料館編 1990。国書総目録の続編。

025/694//J 展示番号 W-9

v. 総合目録データベース(NACSIS Webcat) / 国立情報学研究所

1986-。参加する大学図書館等が、所蔵する資料の書誌情報と所在情報をオンラインでデータベース化した目録システム。

	「ゲスナー賞文庫」開設記念展 出展リスト					
小テーマ	通番	請求記号	タイトルなど			
	1	雄松堂書店所蔵	「萬有文庫」初版 Bibliotheca Vniversalis コンラート・ゲスナー 1545年 チューリッヒ			
			16-1565) Bibliotheca Vniversalis, sue Catalogus omnium scriptorium… Christophorum Froschouerum, 1545			
			ーは、スイス人の博物学者、ギリシャ語教師。博物学の著作としては、『動物誌』(Historia ごが、書誌学上においても、近世の書誌編纂法の基礎を築いた人物として知られている。			
		語、ラテン語、ヘブラ Vniversalis)として15	時代までに蓄積された人類の知識である書物を体系化しようと試み、聖書の言葉であるギリシャライ語で書かれたあらゆる分野の書誌情報を網羅的に収集・整理し、『萬有文庫』(Bibliotheca 545年にチューリッヒのフローシャウアー印刷所より刊行した。書誌の構成は、書誌本体が著者の「の配列で、約3000名、12000点の書物が収録されており、巻頭に著者名のアルファベット順索引			
		嚆矢ともいえる『総覧 「神学」の分類は15	は、『萬有文庫』に収録された書物を21の学問の主題区分によって編成した近代的分類目録の 覧』(Pandectarum siue Partitonum universalis…libri XXI)を刊行(第20類「医学」は未完、第21類 49年に刊行)。 審書に多数の参照文献リスト掲載した。これは参考文献一覧の始まりともいえる。			
	2	091.3/970//H	「簡略版萬有文庫」 Epitome Bibliothec・Conradi Gesneri コンラート・ゲスナー 1555年 チューリッヒ			
		Gesner, Konrad (1516-65) Epitome Bibliothecæ Conradi Gesneri, conscripta primum · Conrado Lycosthene Rubeaquensi · · · Tiguri (Zurich): Christophorum Froschouerum, 1555				
ゲス ナー		ゲスナーは1555年に、『萬有文庫』の補遺版としてAppendxi bibliothecaeを刊行し、同年に補遺版をもあわせた『萬有文庫』の抄録である本書『簡略版萬有文庫』を刊行した。簡略版では、初版に記された人物伝や著作の注記にあたる部分が削除されている。				
著作関 連		雄松堂書店所蔵	「簡略版萬有文庫」 簡略版第2版 Bibliotheca instituta コンラート・ゲスナー1574年 チュー リッヒ			
	3	Gesner, Konrad (1516-65) Bibliotheca institute et collecta primuma Tiguri (Zurich): Christophorum Froschouerum, 1574				
		091.3/841//H	「諸動物の詳説」オランダ語初版 ヨンストン 1660年 アムステルダム			
	4	beeldenissen in kop	(1603-1675) Dr. I. Ionstons Beschrijving vande natuur der viervoetige dieren nessens haer er gesneden Schipper, op de Keysers gracht, 1660			
		※ゲスナーの『動物誌』に含まれるアルブレヒト・デューラーのスケッチをもとに製作された木版画の"インドサイ"(Rhinoceros unicornis)は、ヨンストンの『諸動物の詳説』においては、立体的で迫力のある銅版画の図版となっている。				
		ヤン・ヨンストンはポーランド出身で、プロイセン、スコットランで医学と植物学を修めた。1640年から1655年まではライデン大学医学部教授。この間、『魚類・クジラ誌』、『四足獣誌』、『鳥類誌』、『昆虫及び蛇類誌』をフランクフルトで刊行し(1650~1653年)、1660年にはこれらを再編集して一巻本とし、ラテン語からオランダ語に訳してアムステルダムで刊行した。				
		この本は、刊行後僅か3年の1663年にオランダ東インド会社によって日本に舶載し、1741年に八代将軍徳川吉宗の命により野呂元丈(のろ、げんじょう)が、『阿蘭陀禽獣蟲魚圖和解』として一部を翻訳している。内容的には、ゲスナーやアルドロヴァンディらの論述で、目新しさはないが、ヨンストンが刷らせた250もの銅版画の図版は立体的で迫力がある。 第1巻:四足獣誌に含まれる"インドサイ"(Rhinoceros unicornis)の図版は、アルブレヒト・デューラーの原画(1515年)に基づいて製作されたことで名高い。				
			は、江戸期の博物家・蘭学者から西洋博物学を代表する書物として珍重され、平賀源内、桂川甫 は耕牛が本書を所蔵していたことが知られている。			
	5	024.8/27//H	「私の神保町」紀田順一郎著 2004年 晶文社			

小テーマ	通番	請求記号	タイトルなど	
	6	雄松堂書店所蔵	「書林探訪:古書から読む現代」紀田順一郎著 2005年 松籟社	
	7	910.2/1353//H	「日本の書物」紀田順一郎著 2006年 勉誠出版 (第5回本の本部門)	
	8	023.1/23//H	「読書戦争」紀田順一郎著 1978年 三一書房	
	9	915.6/134//H	「日記の虚実」紀田順一郎著 1988年 新潮社	紀田順一郎著作
	10	369.15/35//H	「東京の下層社会:明治から終戦まで」紀田順一郎著 1990年 新潮社	
	11	010.21/25//H	「図書館が面白い」紀田順一郎著 1994年 筑摩書房	
	12	281.04/129//H	「日本博覧人物史:データベースの黎明」紀田順一郎著 1995年 ジャストシ ステム	
	13	雄松堂書店所蔵	「第三閲覧室」 紀田順一郎著 2003年 (創元推理文庫)	
中本只	14	022.3/1//W	「グーテンベルクの謎:活字メディアの誕生とその後」高宮利行著 1998年 岩波書店	
審査員 の著作	15	099/4322//H	「西洋書体の歴史:古典時代からルネサンスへ」スタン・ナイト著;高宮利行 訳 2001年 慶応義塾大学出版会	
	16	930.2/1020//H	「中世イギリス文学入門:研究と文献案内」高宮利行,松田隆美編 2008年 雄松堂出版	ᄒᅙᄱᇶᆇᄯ
	17	雄松堂書店所蔵	「キャクストン印刷の謎:イングランドの印刷事始め」ロッテ・ヘリンガ著 高宮利 行訳 1991年 雄松堂出版	高宮利行著作
	18	雄松堂書店所蔵	「西洋書物学事始め」高宮利行著 1993年 青土社	
	19	020.2/22//H	「図説本と人の歴史事典」高宮利行,原田範行著 1997年 柏書房	
	20	293.3/17//H	「暮らす」林望,キャロン・クーパー著 1997年 東京書籍	
	21	029/920//J	「ケンブリッジ大学所蔵和漢古書総合目録: アストン・サトウ・シーボルト・コレクション」ピーター・コーニッキー, 林望共編 1991年 Cambridge University Press	
	22	383.8/271//H	「旬菜膳語」林望著 2008年 岩波書店	林望著作
	23	020.4/89//H	「書誌学の回廊」林望著 1995年 日本経済新聞社 (第1回本の本部門)	
	24	020.4/92//H	「書薮巡歴」林望著 1995年 新潮社	
	25	GES1/1-1//H	「瀧井孝作書誌」 津田亮一著 1994年 私家版	目録·索引部門 【金賞】
受賞作 (第1回)	26	GES1/1-2//H	「新版ヒマラヤ文献目録」 薬師義美編 1994-1995年 白水社	目録·索引部門 【銀賞】
	27	GES1/1-3//H	「アレンツ文庫世界たばこ文献総覧」第1巻〜第5巻、追録第1巻〜第2巻 たばこ総合研究センター アレンツ文庫翻訳委員会 訳・編 1992-1997年 たばこ総合研究センター	目録·索引部門 【特別賞】
	28	GES2/1-1//H	「書物の森へ 西洋の初期印刷本と版画」 佐川美智子・高木幸枝・雪嶋宏一 編 1996年 町田市立国際版画美術館	本の本部門 【金賞】
	29	GES2/1-2//H	「Thomas creede: Printer to Shakespeare and His Contemporaries」 山田昭廣著 1994年 Meisei University Press	本の本部門 【銀賞】
	30	GES1/2-1//H	「Ruskin in Japan 1890-1940 Nature for Art,Art for Life」 自然の美・生活の美展実行委員会編 1997年 自然の美・生活の美展実行委員会	目録·索引部門 【金賞】

小テーマ	通番	請求記号	タイトルなど	
受賞作 (第2回)	31	GES1/2-2//H	「ドキュメンタリー新興作曲家連盟 戦前の作曲家たち1930-1940」 国立音楽大学附属図書館・現音ドキュメンツ作成グループ(染谷周子・杉岡わか子・三宅巌) 1999年 国立音楽大学附属図書館	目録·索引部門 【銀賞】
	32	GES1/2-3//H	「わが国における英語学研究文献書誌 1900-1996」 田島松二編 1998年 南雲堂	
	33	GES2/2-1//H	「愛書狂」 鹿島茂著 1998年 角川春樹事務所	本の本部門 【金賞】
	34	GES1/3-2//H	「田中恭吉展 TANAKA KYOKICHI a Retrospective」 寺口淳治/井上芳子/奥村一郎編 2000年 和歌山県立近代美術館	目録·索引部門 【銀賞】
	35	GES1/3-3//H	「ポーと日本 その受容と歴史」 宮永孝著 2000年 彩流社	
	36	GES1/3-1//H	「石川啄木文献書誌集大成」佐藤勝著 1999年 武蔵野書房	
受賞作 (第3回)	37	GES2/3-4//H	「印刷博物誌」印刷博物誌編纂委員会編 2001年 凸版印刷株式会社	目録·索引部門 【特別賞】
(新3四)	38	GES2/3-3//H	「ヨーロッパ中世古文書学」 ジャン・マビヨン著/宮松浩憲訳 2000年 九州大学出版会	
	39	GES2/3-2//H	「子どもの本の歴史―写真とイラストでたどる―」 ピーター・ハント 編 さくまゆみこ/福本友美子/こだまともこ訳 2001年 柏書房	本の本部門 【銀賞】
	40	GES2/3-1//H	「印刷に恋して」 松田哲夫著 内澤旬子(イラストレーション) 2002年 晶文社	l
	41	GES1/4-1//H	「日本の近代活字 本木昌造とその周辺」 『日本の近代活字 本木昌造とその周辺』編纂委員会編著 2003年 近代印刷活字文化保存会	目録·索引部門 【金賞】
	42	GES1/4-3//H	「南方熊楠邸資料目録」南方熊楠資料研究会編 2005年 南方熊楠顕彰会	目録·索引部門 【銀賞】
	43	GES1/4-3//H	「南方熊楠邸蔵書目録」南方熊楠資料研究会編 2004年 南方熊楠顕彰会	
受賞作(第4回)	44	GES1/4-2//H	「あるサラリーマン・コレクションの軌跡 〜戦後日本美術の場所〜」 周南市美術博物館 赤松祐樹編 2003年 「あるサラリーマン・コレクションの軌跡」展実行委員会	
	45	GES1/4-6//H	「大東文化大學圖書館所蔵 戸田浩曉博士舊蔵書目録」 山口謠司監修 大東文化大學圖書館編集 2005年 大東文化大學圖書館	
	46	GES1/4-5//H	「ダンテ『神曲』の旅 描かれた地獄・煉獄・天国」 町田市立国際版画美術館編 2004年 町田市立国際版画美術館	目録·索引部門 【入選】
	47	GES1/4-4//H	「江戸川乱歩著書目録(江戸川乱歩リファレンスブック3)」 平井隆太郎監修 中相作編集 2003年 名張市立図書館	
	48	GES2/4-3//H	「本ができるまで」岩波書店編集部編 2003年 岩波書店	本の本部門 【銀賞】
	49	GES2/4-2//H	「本道樂」中野三敏著 2003年 講談社	
	50	GES2/4-1//H	「装丁探索」 大貫伸樹著 2003年 平凡社	
	51	GES2/4-5//H	「晴れた日は図書館へいこう」緑川聖司著 2003年 小峰書店	
	52	GES2/4-6//H	「本棚の歴史」ヘンリー・ペトロスキー著 池田栄一訳 2004年 白水社	本の本部門 【入選】

小= →	通	請求記号	タイトルなど		
7), / (番	胡水心为	ライドルルな と		
	53	GES2/4-4//H	「書物の敵」ウィリアム・ブレイズ著 高宮利行監修 高橋勇訳 2004年 八坂書房		
受賞作 (第5回)	54	GES1/5-3//H	「人名辞典」大事典 人名情報研究会編著 上・下 2007年 日本図書センター	目録·索引部門 【銀賞】	
	55	GES1/5-2//H	「増補改訂 近世書籍研究文献目録」鈴木俊幸編 2007年 ぺりかん社		
	56	GES1/5-1//H	「沖一峨 -鳥取藩御用絵師-」 鳥取県立博物館編集 2006年 鳥取県立博物館		
	57	GES2/5-3//H	「誰も読まなかったコペルニクス -科学革命をもたらした本をめぐる書誌学的冒険」 オーウェン・ギンガリッチ著、柴田 裕之訳 2005年 早川書房	本の本部門 【銀賞】	
	58	GES2/5-1//H	「古本蘊蓄」八木福次郎著 2007年 平凡社		
	59	GES2/5-2//H	「書物の日米関係 -リテラシー史に向けて」和田敦彦著 2007年 新曜社		
	Y-1	雄松堂書店所蔵	「Catalogus impressorum librorum bibliothecae Bodlejanae in Academia Oxoniensi」 1674年 オックスフォード		
	Y-2	092.3/477//H	Brunet, Jacques Charles 「Mannuel du libraire de libres」 1810年 パリ	es 「Mannuel du libraire de libres」 1810年 パリ	
西洋の	Y-3	092.3/171//H	Dibdin, Thomas Frognall 「Bibliotheca Spenceriana, or A descriptive catalogue of the books printes in the fifteenth century and of many valuable first editions, in the Library of George John Earl Spencer」1814-15年 ロンドン		
書誌	Y-4	026/76//J	Hain, Ludwig「Repertorium bibliographicum」 1826-36年 シュトゥットガルト		
	Y-5	026/282//J	「Catalogue of books printed in the XVth century now in the British Museum」1962-2007年 ロンドン Pt.11 England		
	Y-6	026/275//J	「The Aldine Press : catalogue of the Ahmanson-Murphy collection of books by or relating to the press in the Library of the University of California, Los Angeles」 2001年 バークレー		
	W-1	025.22/27//H	「日本國見在書目録」 藤原佐世[撰] 1925年 古典保存会事務所 帝室博物館蔵室生寺本の影印		
	W-2	025/927//J	「本朝書籍目録」 出版地、出版者、出版年不明 写本		
	W-3	025/78//J	「新増書籍目録」文昌軒紫橋[著] 1729年 永田調兵衛(京都)		
	W-4	025/127//J	「群書一覧」 尾崎雅嘉[著] 1802年 多田定学堂(大阪)		
日本の 書誌	W-5	027/58//J	「近代名家著述目録」 堤朝風[編] 1836年 和泉屋(江戸)		
	W-6	029.1/12//H	「帝国図書館和漢図書分類目録」帝国図書館[編] 1904年 帝国図書館		
	W-7	210.08/43//H	「國書逸文」和田英松編 森克巳校 1940年 森克巳		
	W-8	025/694//J	「國書總目録」 岩波書店編 1963年 岩波書店		
	W-9	025/694//J	「古典籍総合目録」国文学研究資料館編 1990年 岩波書店		